

No. 1383

道路をきれいに

— 静岡・沼津 —

8月1日から1カ月間、全国で道路を守る運動が行われています。静岡県沼津市にある建設省国道維持出張所ではこの期間中住民参加によるクリーン作戦を展開中です。毎年、この時期になるときまって参加するのが上原地区の子供会と老人クラブ。5回目を迎えた今年もゴミ袋やほうきを持ち寄って約100人が町内の道路清掃。道路周辺は心ない利用者が投げすてるアキ缶やゴミでいっぱい。交通量の増加につれてゴミの方も増えているとはある老人のはなし。私たちの日常生活を支える大切な道路美しく安全に保つためお互充分注意したいものです。

ペルシアの古陶器

— 東京・池袋 —

古代ペルシアの陶器を一堂に集めた「ペルシア古陶器展」がいま、東京池袋の古代オリエント博物館で開かれています。この展示会にはペルシア時代、東西の文化交流の中心地として栄えたイランから出土した作品、約130点が展示されています。ひとつひとつの作品は何色もの釉薬で仕上げられており、苦心のほどがうかがえます。イスラム陶器の源流として貴重な役割を果たした古代ペルシア陶器、当時の文化を知るうえでも意義ある展示会と言えます。

おらが町から新総理

7月17日召集された特別国会で鈴木善行氏が第70代首相に指名された。鈴木新総理の地元、岩手県下閉伊郡山田町ではテレビで投票結果が伝えられると、小旗が振られ、「バンザイ」の大歓声で沸き上がった。大漁旗で満艦飾の漁船40隻も汽笛を鳴らし、山田湾内を巡航、「水産総理」誕生を祝った。祝賀式で木下町長はじめ町の有志の祝辞に答えるのは二男の俊一氏。威勢の良いかけ声で紅白のもちがつかれ、お祝いの鏡開きが行われると祝賀ムードも最高潮。つづいて山田小学校鼓笛隊を先頭に祝賀パレードが行われた。町内の目抜き通りを約3キロにわたって「善行先生バンザイ」の連呼と小旗を打ち振っての行進。最後はみこしまで飛び出して主催者側もあっけにとられるほどの熱狂ぶり。鈴木新総理の生まれた山田町は陸中海岸のほぼ中央にある。人口2万6千人。約6割が漁業に従事し、古くから漁師の町である。善行少年は大正6年、山田尋常小学校に入学した。小柄で無口な少年だったが高等科では級長を努めるなど成績は抜群だったという。宮古水産学校ではテニス部のキャプテンをやったり、県の弁論大会にも出場するなど早くもその頭角を表わしていた度重なる津波の災害を目のあたりにしてきた善行氏は「貧しい三陸の漁民を豊かにしてやるんだ」と友人によく語ったという。現在の東京水産大学を卒業後、岩手県漁連水産部長を経て昭和22年社会党公認で立候補初当選した。同24年には民自党（のちの自由党）に移り、以来現在まで保守本流の中で活躍してきた。首相に指名された鈴木新総理は自民党総務会で党三役を決めただちに組閣作業。外務大臣に伊東正義氏大蔵大臣に渡辺美智雄氏、行政官理庁長官に中曾根康弘氏を起用するなど「実務型」の内閣となった。さっそく岩手県から約300人が官邸にお祝いにつけた。おらが町の新総理、なにはともあれよろしくたのみますよ。